
IS ゲッターを継ぐ者～失われた絆～

剣聖龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

IS ゲッターを継ぐ者〜失われた絆〜

【Nコード】

N2825Z

【作者名】

剣聖龍

【あらすじ】

ゴールとの決戦から1年：平和な学園生活を過ごす光牙達の前に突如、謎の生命体が襲来する。

だがそれは只の幕開けに過ぎなかった。

光牙は殺人犯の汚名を着せられ仲間達が敵として立ちはだかる！果たして光牙は、殺人犯の汚名を晴らすことが出来るのか！？

この作品は『IS インフィニット・ストラトス ゲッターを継ぐ者』の続編です。

なので、前作を読んでから読むことを強くお勧め致します。

第1話 放課後の来訪者、そして幕開け

〈ナレーションSIDE〉

ゴールとの決戦から1年が経った。

あの闘いは『第一次異種大戦』と呼ばれ、その闘いの功績により、世界はISと同じ位、ゲッター線について研究するようになっていた。

その闘いで闘った光牙達は現在、進級しIS学園の2年生となり、学園に居た。

光牙

「はあ、終わった終わった」

2年1組で授業が終わり、伸びをしているのは転生者でありゴールを倒した者の1人、滝沢光牙だ。

シャルロット

「光牙、今日はどうするの？」

そんな彼に話し掛けたのは光牙達と共に闘った者の1人、シャルロット・デュノアだ。

シャルロットの後ろには簪も居る。

2年に進級した時のクラス替えにより、光牙達はバラバラのクラスになったのだ。

現在のクラスは以下の通りである。

1組 光牙、シャルロット、簪

2組 セシリア、ラウラ

3組 篤

4組 鈴

光牙

「そうですね…いつも通り皆さんで特訓しましょうか」

シャルロット

「蘭も誘うの？」

光牙

「勿論ですよ」

ちなみに蘭とは今年入学して来た光牙の事を尊敬している1年の五反田蘭の事である。

そう言つて光牙達は教室を後にし、皆を誘いに行った。

くアリーナ

光牙達8人はISスーツに着替え、アリーナに集まっている。

蘭

「光牙さん、今日もよろしくお願いします!」

光牙

「じゃあ今日は実際に戦ってみましょうか」

蘭

「はい!」

そう言っつて蘭は訓練機、打鉄を纏つ。

光牙

「じゃあ僕も…」

6人

『ちよつと待つたあ!!!』

光牙はゼクスファルコンを展開しようとしたが、箒達の声に光牙は驚く。

箒

「いつも光牙がやっているが、たまには私達が相手をしてやる!」

鈴

「ありがたく思いなさいよ蘭!」

蘭

「…ありがとうございます」

(せっかく光牙さんと距離を縮められるとおもったのに…)

光牙

「…どうなってるんだ?」

簪

「光牙つて…鈍感」

光牙

「?????」

そんなこんなで、蘭とは箒が戦う事になり、模擬戦が始まった。試合は実力の差等もあり、箒の優勢で始まったが、蘭もそれなりに実力がある為、拮抗とした展開になっていた。

ラウラ

「蘭もなかなかやるな」

セシリア

「そうですね。箒さんとあそこまでやれるのですから」

戦いの様子を見ているセシリア達が各々感想を述べる。

光牙

「っ！？なんだ!？」

そんな中、光牙の脳裏に電流が流れたような感じがよぎった。

光牙

「これは…ゲッター線？だけどなにか違う…」

その瞬間、凄まじい轟音が響いた。

蘭

「え!？」

箒

「なんだ!？」

アリーナのシールドを突き破り、何かが落下して来た。落下した地点からは着地の衝撃で土煙が上がっており、その中から

現れたのは黒い体で体の至る所に黄色い目のようなものが付いており、二足歩行で立ち手足からは鋭い爪が生え、牙を生やし黄色い目が2つ付いた頭部を持つ“何か”が居た。

????

「キシヤアアアア！」

鈴

「何よあれ！？メカザウルス！？」

光牙

「違う、メカザウルスならゼクスファルコンが反応する筈！でも反応しないという事は、あれは全く違う何かだ！」

シャルロット

「どうするの！？光牙！」

光牙

「とにかく2人に加勢します！このままでは危険ですから！」

シャルロット

「じゃあ僕も！」

簪

「私も！」

セシリア

「私もですわ！」

鈴

「私もよ！」

ラウラ

「私もだ！」

シャルロットを始め、全員が加勢に行くことに同意する。

光牙

「じゃあ行きましょう！チエエンジ！ゼクスファルコンツ！」

光牙はガントレットを構え叫ぶ。

それに続くようにシャルロット達もそれぞれの愛機を展開し、光牙と同じように叫んだ。

セシリア

「ゲッターチェンジ！真ゲッター2！！！」

鈴

「ゲッターチェンジ！ドラゴン！！！」

シャルロット

「ゲッターチェンジ！ライガー！！！」

ラウラ

「ゲッターチェンジ！ポセイドン！！！」

簪

「ゲッターチェンジ！アトラス！！！」

そう言うと5人の愛機は緑色の光に包まれ、ゲッターマルチフォー

ムによって進化した姿になる。

(ゲッターのデータがコアに保存された為、パイロットの任意のタ
イミングで使用出来る。)

それを確認した光牙はファルコンソード・ZXを展開してアリーナ
のシールドを切り裂き、侵入した。

それに続くようにシャルロット達も侵入していく。

蘭

「光牙さん！あれは一体何なんですか！？」

光牙

「分かりません！只、あいつからは不気味な感じがするんです！」

そう言うと侵入者は光牙に飛び掛かってきた。

それを光牙はファルコンソード・ZXで受け、弾き飛ばす。

鈴

「貰いつ！」

そこへ鈴はダブルトマホークを構えて接近し、切り裂いた。
侵入者はバラバラになって肉片がアリーナに散る。

鈴

「え？弱っ！」

シャルロット

「随分呆気ない敵だね」

篤

「まあ、倒したのなら良いのではないか？」

セシリア

「そうですね」

そう言っつて皆はアリーナを後にしようとした。

だが、その肉片がまだ蠢いていた事を光牙が気付いた。

光牙

「まだだ！まだやられてない！」

7人

『え！？』

バラバラになった肉片はまるで意思を持ったように一ヶ所に集まり、絡み合い、再び形を形成した。

簪

「再生した！？」

????

「キシヤアアアア！！」

侵入者が叫ぶと両腕が多数の触手に紐解かれ、それが絡み合い鎌のような形になった。

その鎌で侵入者は光牙達に斬り掛かる。

光牙達はバラバラになってかわすが、鎌がラウラにかすり装甲を切り裂いた。

ラウラ

「くっ！」

鈴

「ラウラ！くっ、このお！」

鈴が両肩からゲッターキャノンを放つ。

ゲッターエネルギーの砲弾が侵入者に命中し、右腕を吹き飛ばした。だが、次の瞬間吹き飛ばされた部分から触手が生え、先程の鎌より巨大に、鋭利になった鎌を形成した。

鈴

「う、嘘！？」

????

「ギシャアアアアアア！！！」

その鎌を鈴に目掛けて侵入者は振るう。

だが、その鎌が命中する直前に光牙が間に割り込み、ファルコンソード・ZXで防いだ。

鈴

「光牙！」

光牙

「はああああ！」

そのまま出力をあげて鎌を弾き、光牙は侵入者に接近する。

そのままファルコンソードで一閃し、左腕を切り落とした。

その状態で左腕だけマシンガンを展開し、銃口を侵入者の頭部に突き付けて発砲した。

零距离射撃で撃ち込まれた事により、頭部は原形を留めない程の状

くIS学園、地下特別区画く教師でさえ一部の人間しか知らない場所
所に光牙は千冬に連れてこられた。
入って中央の所に液体が充満したカプセルに侵入者の黄色い目が付
いた肉片が浮かんでいた。

千冬

「回収出来たのはこいつだけだ。その他の部分は消えてしまったよ
うだからな。光牙はこれが何か分かるか？」

光牙

「…すみません、姉さん。僕でもよく分からないんです…」

光牙は申し訳なさそうに答える。

千冬

「…そうか。分からないのなら仕方ない。じゃあ、戻るぞ」

光牙

「…はい」

そう言っつて千冬と光牙は退出していく。

すると、物陰からピヨコツと飛び出す女子、布仏本音の姿があった。

本音

「こーくん達を追いつけて来たならこんな所に来ちゃったけど…」

本音は中央のカプセルにとととととと近寄る。

本音

「なんだろ、これ」

カプセルをつんつんと本音はつつく。

その時、本音の後ろから忍び寄る影があり、その手には鉄パイプを持ち、本音の直ぐ後ろで振り上げる。

本音

「ほえ？」

本音が振り向いた瞬間、鉄パイプが振り下ろされ、ガンツ！という音が響く。

本音は頭から血を流して倒れ込んだ。

殴ったのは白衣を着た褐色の肌の大男だった。

男は鉄パイプを捨て、カプセルを持つとそれを落としてカプセルを割った。

それにより、中の肉片は生き物のように動き出し、何処かへ行ってしまうた。

????

「ステインガー君、此方は完了したよ。そっちはどうだい？」

男は通信機を取り出し、仲間と見られる人物に連絡を取る。

ステインガー

『此方も大丈夫だよ。カメラの映像は編集しておいた』

それを聞いた男は通信を切る。

そしてスイッチの付いた装置を取り出し、そのスイッチを押すと目の前の空間が裂け、そこへ入る。

すると裂けた部分は元通りになった。

（翌日）

次の日、いつも通り光牙は制服に着替え、朝食を取る為に食堂に来了。

その瞬間、光牙に視線が集中したが、光牙はいつも通りだと思い、特に気にしなかった。

すると光牙は前方に箒が居る事に気付いた。

光牙

「箒さん、おはようございます」

挨拶をする光牙。

だが、箒から返ってきた言葉はいつもとは違った。

箒

「…お前、誰だ？」

光牙

「…へ？」

思わず光牙は耳を疑う。

光牙

「何冗談言ってるんですか？僕ですよ、僕」

箒

「いや、本当にお前誰なんだ？」

光牙

「いや、だから…」

その時、急に食堂が騒がしくなり、光牙は何事かと思ってその方向を見る。

そこには食堂のモニターがあり、ニュースが流れていた。

キャスター

『昨日、IS学園に通う1年生の布仏本音さん15歳が殺害された事件ですが、犯人は同じく15歳の滝沢光牙だという事が学園の監視カメラの映像から判明し、現在緊急指名手配中です』

光牙

「な!!!???」

余りにも衝撃的な内容に光牙は驚愕する。

篤

「お前…!!」

振り向くと、篤達全員の視線が光牙に向いていた。

光牙

「くっ!!」

思わず光牙は逃げ出した。だがこれは、光牙を揺るがす大事件の幕開けに過ぎなかった…

第1話 放課後の来訪者、そして幕開け（後書き）

感想等、お待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2825z/>

ISゲッターを継ぐ者～失われた絆～

2011年12月9日23時53分発行